

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					回収数	
がまごおり・ふれあいの場		2026年 3月 31日					50名 (2026年 2月 1日)	42名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		環境・体制整備	1	36	5			1
	2	39	3			アフターグループ（土曜日）の時間が少ない気がする。	法令で必要とされる人員配置以上の職員数を配置しています。土曜日はきょうだい児と一緒に活動に参加しているため配置が少なく感じられるかもしれませんが。	
	3	36	5	1		入口の靴を履く椅子が低いものばかりなので、足の不自由な子に合わせた高さの椅子があるといいと思う。	必要なお子さんのニーズに合わせた物の準備ができるようにこころがけます。	
	4	40	2					
適切な支援の提供	5	41	1			先生によって支援の仕方が違うので、共通理解しているのかなと思う時がある。	朝夕のカンファレンスで情報を共有し、支援の仕方が同じになるように努めています。個人のスキルがあがるよう努力します。	
	6	39	1		2			
	7	42						
	8	42						
	9	40	1		1			
	10	40	2					
	11	23	6	3	10	交流はないが、幼稚園と併用しているためそちらで他の子どもと関わっています。	幼稚園・保育園に通いながらの並行通園が可能です。未就園のお子さんは、年少児以上のお子さんは保育園の交流保育を、未満児のお子さんには園庭開放を知らせています。	
保護者への説明等	12	42						
	13	42						
	14	40	1		1	ベアトレは2回行うことで子どもへの意識がかかわり方がより身についた。	今年度は5グループでベアトレを実施しました。保護者によっては年度をまたぎ複数回参加される方もみえます。年度途中で利用された方には次年度実施予定です。	
	15	42				毎回細かな発達状況の確認ができることでよりよいと思いました。	定期的なモニタリングの際には、毎回生活チェック表を保護者の方につけていただき、発達の確認をするようにしています。お子さんにあった発達の確認方法をこれからも考えていきます。	
	16	42				面談がもう少しあってもいいと思う。	ご心配ことがあれば、定期的な面談以外にもご相談はいつでも可能です。ご相談しやすいよう周知につとめます。	
	17	42						
	18	22	6		14		保護者会という組織は作っていませんが、平日利用の方には月1回、保護者の情報共有のためのおしゃべり会を開催しました。どのグループにも、進路の情報を聞くことができるOB会を開催しました。	
19	36				6		親子通所のため、相談事があれば、その都度お受けしてきつたりでした。相談があれば、誰にいったらいいのかなど、わかりやすく明示し、周知します。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34	2		6	各グループごとに活動内容は通信でお伝えし、情報の周知にはオープンチャットも利用しました。自己評価も掲示とホームページとオープンチャットに載せます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	2	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	2		5	参加するグループにより頻度は異なりますが、年間計画を立てて、事業所としては月に1回訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36	2		4	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	2		4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32			10	親子通所型の事業のため、何かあった際にはその都度、その場で情報を説明するように努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	41	1			少しずつ慣れてきましたが、安心までできていない。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	39	2		1	安心して通えるよう、お子さんの様子を観察し、保護者の方の話をよくきいて、よりよい支援体制を作っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	42				